



飲酒運転、断固NO! お互いの助け合い、 支え合いが 一番のブレーキに

札幌連合断酒会は社会に対して、酒害者及び酒害者家族の救済、特に女性や子どもの救済に関する事業を推進し、社会復帰の促進を図り、広く社会福祉の向上に寄与することを目的として昭和44年に設立しました。仲間から加害者を出さないために、この支援活動をスタートさせ、多くの方々に向けて街頭キャンペーンや市民フォーラムなどの啓蒙活動に取り組むほか、電話相談や断酒例会も実施しています。

市民フォーラムでは医療(札幌太田病院院長)・行政(警察署交通課)からの講演・講話と会員による体験談を通して、「一人ひとりの自覚(しない・させない・許さない)」を促すことで、会員の飲酒運転防止の意識向上に努めています。

回復のプロセスを
いつでも手助け
断酒例会

ある一定の期間断酒ができていてもちょっとしたことが原因でコントロール力を失い、お酒に手を出してしまうというケースが多くあります。その「たった一杯」を防ぐことが重要であり、昼夕間わず例会出席を励行しています。

<特定非営利活動法人 札幌連合断酒会>

設立 昭和44年6月
代表 平坂信男
所在地 〒063-0811 札幌市西区琴似1条5丁目2番1号シャンポール琴似304

電話 011-642-2725
MAIL do-dan@alpha.ocn.ne.jp

「飲酒運転撲滅を目指す」

街頭キャンペーン・市民フォーラム

平成29年11月25日(土)
札幌市西区民センター
市民フォーラム参加者:約50人

札幌市西区民センターにて、アルコール関連問題啓発フォーラムを開催しました。道内において、飲酒運転事故件数は減少傾向にありますが各地では事犯が後を絶たないのが現状で、例年、冬期間に事故報道が増加していることを考慮し、「飲酒運転、断固NO!」をテーマとしました。



仲間から加害者を出さないために



街頭キャンペーン
チラシとティッシュ1000個を配布



一般市民の方々の
協力を求めました。

活動への想い

「アルコール依存症」という病名は同じでも、原因は人それぞれ異なります。それらをひとつずつ紐解き一人ひとりに合った解決方法を導き出すために活動を続けています。お酒を止められなくなった背景が違えば、回復の過程もバラバラです。聴いたり話したりすることで「気づき」が生まれ、お互いで支え合うことによって、自分のための断酒継続の心へとつながっていきます。